

# にじのかけはし

第33号

○発行年月日  
平成28年1月25日  
○発行  
社会福祉法人  
安房広域福祉会  
〒294-0231  
千葉県館山市中里288-1  
☎0470-28-2422  
FAX0470-28-2424  
<http://www.nakazato.or.jp/>



「月うさぎ」



みんなの手形もよう  
「紅葉」



「ハロウィン」

「創作支援 作品」

中里の家

中里ワークホーム

# 中里ふれあい祭

実行委員長 山田 正人



11月3日(火)に中里ふれあい祭を実施しました。前日の悪天候が一転、当日は快晴！秋の日差しに包まれながら、ご来場下さった大勢の方々に支えられ盛大に催すことができました。

館山市立第三中学校  
吹奏楽部の皆さんによる  
ステキな演奏



くいどりにも大行列が！一粒でも多くと来場者皆さんが奮闘されておりました。バザーも始まるや否や人の波ができて、会計をしている方々もてんやわんやな状況でした。  
正午になり、今回初のバナナの叩



バザー大盛況!!

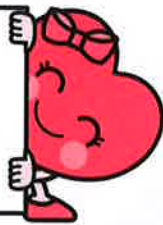


バナナの叩き売り

き売り実演会！威勢の良い掛け声と共にお客様を巧みな話術、時にはべらんめえ口調で強引に(笑)呼び込みバナナを売りさばくその姿に感動！その後は、館山市立第三中学校吹奏楽部の皆様による素敵な演奏と共に会場を大いに盛り上げてくださいました。今年もマスケットキャラクター「だっぺえ君」が登場して、子供さんや利用者さんは大興奮。会場内をずっと一緒に練り歩き、楽しい時間を過ごすことができました。恒例行事となっておりますが、毎度の温かいご支援、ご協力誠にありがとうございます。支援スタッフ一同、来年も楽しい会となりますよう企画をしたいと思っておりますので、是非ともご来場ください。

保護者会バザー  
売上金

**262,471円**



法人に対してご寄付をしていただきました利用者の方々のご生活に有効に活用させていただきます。ありがとうございました。



▲館山吹奏楽団による演奏

12月22日の夜、中里の家、ワークホーム合同でクリスマス音楽会を行いました。  
まずはじめに「ジングルベル」「サンタがまちにやってくる」を大合唱。サンタに扮する理事長・施設長からの、クリスマスプレゼントと続きました。



## クリスマス音楽祭

支援員 大岩 真人



▲クリスマスソング大合唱



そして今年のメインイベントは館山吹奏楽団による演奏です。利用者の皆さんの好きな、歌謡曲、演歌、クリスマスソングを演奏していただき、感動の時間を過ごすことができました。  
また来年も楽しい企画をつくりたいと思います。

## 中里の家

### 中里ワークホーム

一年の

締めくくりには

支援員 榎本 飛馬



▲みんなでつきました!!

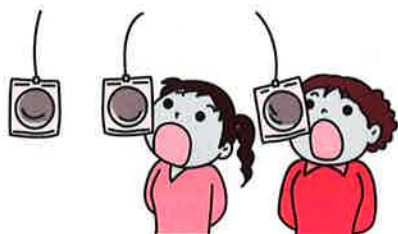
12月18日に、恒例行事であるもちつき会が行われました。臼と杵で一生懸命に利用者の方が皆でつきあげたお餅。きなこ餅、紅白餅とお腹いっぱい召し上がりました。  
利用者の方々や保護者の方々職員にて一丸になり、ついたお餅は毎年ながら格別な味でした。来年も元気に一年過ごしていけるのではないかと思います、有意義な日になったのではないのでしょうか。

## 中里の家

手をつなぐスポーツのつどいに参加して

支援員 堀江 拓也

11月5日、第42回手をつなぐスポーツのつどいが千葉県総合スポーツセンター陸上競技場にて行われました。中里の家では利用者14名、職員6名が参加しました。なのはな体操が始まると皆さん元氣よく体操し、競技では徒競走、玉入れ、パン食い競走に参加しました。やはり皆さんパン食い競争が大好きな様子で、頼もしい姿が見られました。競技後にはおいしそうにあんぱんを食べていました。午前中の競技が終了するとお弁当の時間♪大勢の人たちと外で食べるお弁当は格別の味わいだったのではないのでしょうか？  
充実した一日になったと思います。来年もまた参加したいと思えます。



障害者就業・生活支援センター中里

特例子会社とは

就業支援員 金木 隆裕

突然ですが：特例子会社とはどんな企業かご存知ですか？

企業は50人に1人、障害をもっている従業員を雇用することが義務付けられており、大企業になればなるほど雇用義務人数は増えます。特例子会社は障害者のため特別な配慮をした子会社を企業が設立し、一定の要件を満たす場合にその子会社に雇用されている障害者を親会社や企業グループ全体で雇用されているものとして算定でき、経営されている子会社が特例子会社です。

その特例子会社見学会を11月4日に地域自立支援協議会の就労部会にて、ちばぎんハートフル株式会社へ行ってきました。

ちばぎんハートフルは地方銀行初の特例子会社としてH18年に設立し、7名の障害者雇用をするところから始まり、現在では26名を雇用しており、来年4月にはさらに2名の特別支援学校の卒業生が入社予定との事です。

内容については、PC業務が中心で、皆さんスピーディーに取り組んでいる方が

何人もいました。また名刺のゴム印の作成もしており、今では関連企業などからの注文もあるとの事です。様々な障害の方への配慮という点で、お互いがお互いをサポートする意識を非常に強く感じました。会社案内のDVDも社員皆さんで作ったものだと同じ、職場の雰囲気も非常に温かみを感じました。

毎年行っている見学会ですが、今後は支援者だけではなく企業の方等も参加していただけるような企画も考えられたいと思います。



▲たくさんの質問もできていました

障害者就業・生活支援センター中里

志を一つに

所長 杉村 利之

昨今、障害者福祉施設では、作業従事の対価としてお支払いする工賃の向上が求められています。そんな中、昨年度より地域自立支援協議会就労部会にて、安房地域の障害者福祉施設による合同販売会を実施しています。

売り上げを少しでも障害ある方に還元できるように、また、より多くの方に施設のことを知っていただきたいという目的のもと、今回は館山市が主催するイベント、『館山まるしえ』に「安房地域施設合同フェア」と銘打って出展させていただきました。施設間の垣根を越えて一丸となり、販売・宣伝活動を行いました。

地域のコミュニケーションが希薄となっている地域もある中、安房地域の施設間の関係は非常に良好だと感じます。そういった地域の強みを活かし、今後力を合わせて障害福祉の発展を目指し取り組んでいきたいと思えます。



▲晴天に恵まれ盛況でした

中里の家

千葉ロッテマリーンズ交流会

支援員 平嶋 洸介



▲大嶺選手とキャッチボール

11月12日に鴨川のしあわせの里で行われた千葉ロッテマリーンズとの交流会に利用者7名と職員2名で参加してきました。マリーンズからは石川投手、大嶺投手、香川投手、松永投手の4名が来て下さいました。選手達が会場に入ると来ると割れんばかりの歓声でした。質問コーナーでは皆さん思い思いの質問を投げかけ、思わず選手達も回答に困っていました。お



▲お菓子のプレゼント

待ちかねのキャッチボールでは多くの利用者の方が選手達とふれあうことができ、中には感動して涙を流している利用者の方もいました。またとない機会に良い思い出になったのではないかと思います。



中里の家

館山市民音楽祭

支援員 馬目 佳輔

11月28日、南総文化ホールで行われました館山市民音楽祭にお邪魔してきました。昨年に引き続き、今年も中里の家として合唱を披露させていただくこととなり、一か月前から『さんぼ』の練習を重ねて準備は万端。気合いが入っていました。…のはずが？

当日の事前練習では、あまり声が出ず。緊張の顔色、いつになくトイレに行く回数も多いような、「元気よく、笑顔でみなさんに声を届けよう」と鼓舞し、本番に臨みました。

『あーっっっ あるっっっ わたしはげんき〜♪』歌い始めると、会場のみならずから温かい拍手が起こり、盛り上げていただきました。気持ちも乗って自然と声量も増し、最後まで元気よく歌わせていただく



▲『さんぼ』を大合唱!

ことができました。参加されていた、日頃お世話になっている方々からも「よかったですよ」とお声掛けいただき、ようやく利用者さんにも笑顔が。とても緊張しましたが、よく頑張りました。

桜の里

日帰り旅行

支援員 福原 諒



10月9日、天候に恵まれ、まさに旅日和といった中、多くのご家族にも参加して頂き、横浜方面へ日帰り旅行に出かけて来ました。  
まずホテルのランチバイキングで昼食をとり、その後はお楽しみ「クルージング」。横浜港を一回り、皆さん船上で景色を

ながめゆったりと過ごし、「カップヌードルミュージアム」へ。ご家族と一緒にオリジナルのカップラーメンを作ったり、館内施設を見学されたりと楽しい一時を過ごすことができました。

あつという間の一日でしたが、皆さんの楽しまれている笑顔の中、素敵な思い出を作ることができました。

ワークス 館山

日帰り旅行

支援員 小ノ澤 景子



10月29日、晴天なり。修学旅行シーズン真っ只中、秋の鎌倉へ。まずは、何と言っても「鎌倉大仏殿」。荘厳で穏やかなお顔の大仏様が迎えてくださいました。いざ大仏様の体内へ、狭い入口の石段を降りて行くと真っ暗!!手さぐりで降りたり昇ったり、ドキドキ、ハラハラ、声をかけあいながらようやく入り、お参りでき、大興奮でした。

お腹も空き昼食は名物のしらすの入った海鮮丼に舌鼓。完食です。食事の後は小町通りでショッピング。修学旅行生であふれ迷子にならないか心配しましたが、皆さん両手にお土産抱え、鶴岡八幡宮の鳥居へ無事到着。高い階段昇りぎり最後のお参りです。ふおふお何をお願いしたのでしよう。

忙しい作業を抜け出し過ぎたとき、ひととき、きつと満足してくださったことと願ってーさあ、また明日からペーパー作り！ペーパー作り！励みまあす。



中里の家

海外七姉妹都市による「障害者芸術展覧会」に七名が出品

施設長 畠山 正明

昨年10月にベリンハム市(米)を会場に、芸術展覧会が開催されました。チャリティー形式で、買い上げられた浄財は、障害者の支援活動や交流活動に充てられるそうです。

中里の家からは、トウモロコシを描いた七名の作品が出品されました。この絵に感動されたベ市民の方が50ドルで購入され、その金額とあわせて絵画一点が、館山国際交流協会から届けられました。



▲トウモロコシ

展覧会場の様子を写した写真と寄贈された絵は、中里の家のホームに展示されてあります。

中里の家

視察研修「まつど育成会」

支援員 庄司 友孝

11月25日、支援員8名で松戸市にある「まつど育成会」の施設見学に参加させて頂きました。今回は入所施設の「まつぼっくり」、今年度開所されたグループホームを見学させて頂きました。

「まつぼっくり」では利用者さんの居室やダイニング、作業風景を見学しました。居室は個々の生活スタイルや趣味などに合った部屋づくりがされており参考になりました。グループホームは今年度開所されたこともあり、なんとと言ってもキレイ!!ぜひ住みたいと思うグループホームでした。

今回の研修で学んだことは、今後に活かしていき、その中で「中里らしく」、利用者さんの過ごしやすい環境をつくっていきたいと思いました。

中里ワークホーム

菜花の季節がやってきました

支援員 大出 貴博

菜花といえば南房総の特産品であり、ミネラル分も豊富でビタミンCはほうれん草の3倍、ベータカロテンはピーマンの5倍と、栄養価も非常に高く、冬の緑黄色野菜として重宝されています。中里ワークホームでも毎年9月末から10月初めにかけて菜花の種まきを行い、早ければ12月中旬から収穫を始めます。その年の気温によって生育が全く変わってしまうので、種まきも慎重に行わなければなりません。今年は台風の影響も少なくほっと一息。12月1日現在ですが、すくすくと成長しており、これから中心部分の芯を切ることで、食用となるわき芽がどんどん成長していきます。凍えるような寒さの中、手に息を吹きかけながら、丁寧に1本1本収穫した菜花を是非、皆さんに召し上がって頂きたいと思えます。



▲菜花の収穫



▲菜花漬けの製造

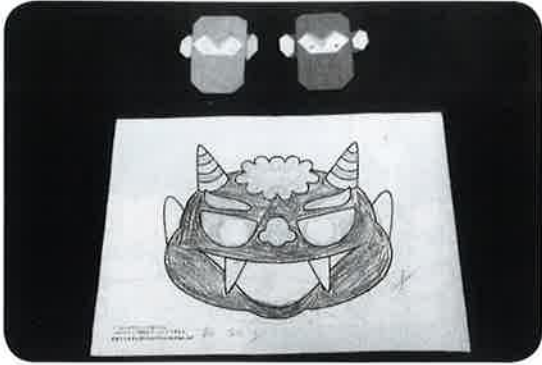
中里の家

創作支援について

支援員 前田 ひとみ

初めての試みである、ちぎり絵の題材は月見です。使う色数も少なく、親しみやすい点で決めました。模造紙一枚分という大きさであったので、作成は利用者さんが机を取り囲んで四方八方から好きに埋めていきました。皆さんの自由な発想で貼って頂いた部分は色彩が豊かで、心躍る仕上がりとなりました。

リースの材料は、利用者さんが野鳥の森にて集めてきて頂いた落ち葉や小枝、そして柿やドングリの飾りは、皆で一緒に買いに出掛けて揃えてきました。そこにかぼちゃのちぎり絵も加えて、秋らしく温かな作品が完成しました。



公衆衛生功労者表彰

平成27年12月2日健康づくりのつどいにて、公衆衛生功労者として安房保健所管内栄養士会長から推薦を受け、表彰されましたので報告致します。

千葉県安房保健所長表彰 優良栄養士 中里の家 岡本恵津子

新職員紹介



方々と共に成長していけたらと思いますので宜しくお願いします。

中里ワークホーム 支援員 滝川 哲男

初めまして、滝川と申します。11月より勤める事となり、農産加工班に所属となりました。福祉の仕事も農作業も初めての事なので、とまどいと不安といっぱいですが、利用者の方々と共に成長していけたらと思いますので宜しくお願いします。



よう努力していきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

中里ワークホーム 事務員 宇津木力也

11月より事務員として勤務させて頂いたことになりました。まだまだわからないことが多く、皆様に御迷惑をお掛けすることもあると思います。いち早く仕事を覚えられよう努力していきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

ボランティア

中里ワークホームボランティア 田中 種雄

定年後は何か社会に貢献できることがしたいと考えてはいましたが、これまで何もせずに、野鳥・野草の観察、撮影やテニス、ギターなど趣味に明け暮れていたら、あつという間に4年が経っていました。今年8月の夏祭りへの参加が、私の初ボランティアでした。

以来、主に依託作業を手伝わせて頂いています。今後も、依託作業に限らず、施設内の清掃、草刈りなど何でもさせていただけつもりです。よろしくお願ひします。



▲ボランティアの田中さん

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

今回の広報誌はいかがでしたか？一つでも多く中里での生活が伝えられたでしょうか？雰囲気や表情が少しでも想像できていただけたら嬉しいです。

今後とも見やすい広報誌作りに努めていきます。まだまだ寒さが続きますので、お体に気をつけ「にじのかけはし」をお楽しみ下さい。

(前田)

ボランティアのお知らせ

中里の家・中里ワークホームでは、随時ボランティアを募集しています。作業など一緒に参加して下さい。心よりお待ちしております。まずはお電話にてお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先・連絡先

■中里の家

館山市中里 288-1  
☎ 0470 (28) 2022  
FAX 0470 (28) 2023  
nakazato-ie@minos.ocn.ne.jp

■中里ワークホーム

館山市中里 291  
☎ 0470 (28) 2422  
FAX 0470 (28) 2424  
nakazato-workhome@m2.dion.ne.jp

HPURL <http://www.nakazato.or.jp/>